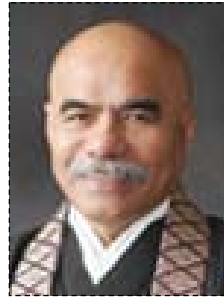




L.A. Hompa
Hongwanji
Buddhist Temple
815 E. First Street
Los Angeles, CA
90012
Tel: (213)680-9130
Fax: (213)680-2210
E-mail:
info@NishiHongwanji-la.org
Website:
www.NishiHongwanji-la.org

本派本願寺羅府別院 輪番法話



輪番
ウィリアム プリオネス

「メモリアルデー」

それ、人間の寿命をかぞうれば、いまのときの定命は五十六歳なり。しかるに当時において、年五十六までいきのびたらんひとは、まことにもっていかめしきことなるべし。これによりて、予すでに年齢六十三歳にせまれり。勘篇すれば、年ははや七年前までいきのびぬ。これにつけても前業の所感なれば、いかなる病患をうけてか死の縁にのぞまんとおぼつかなし。……ことにもって、この世界のならいは、老少不定にして、電光朝露のあだなる身なれば、いまも無常のかせきたらんことをば、しらぬ体にてすぎゆきて、後生をばかつてねがわず、ただ今生をばいつまでもいきのびんずるようこそ、おもいはんべれ。あさましというもなおおろかなり。

時の経つのは早いもので、五月ももうすぐそこです。五月は私の誕生日です。誕生日が近づくと、毎年のように思うことがあります。それは私の人生のことで

あり、今どこに居るのか、これまで辿ってきた道はどんなものであったか、そしてこれから私はどこに向かっているのか、ということですね。特に今年には不安が続く現在の状況を鑑みるにつけて、蓮如上人のお言葉を思い出さずにはいられません。

冒頭にご紹介したのは蓮如聖人の御文章第四帖に収められている「人間の寿命」という御文です。蓮如上人は「私はすでに老齢に入っています。平均の寿命を七年も過ぎて生き延びているのです。」とおっしゃいます。当時の平均寿命は五十六歳でありました。私の父が亡くなったのは五十七歳の時でした。父と比べて私はもう十五年も長く生きています。

蓮如上人は八十五歳でその生涯を終えられますが、それは四人の妻と七人の子供に先立たれた人生でした。(蓮如上人は二十七人の子供に恵まれました。)大切な家族を見送った体験を通して、上人は人生の儚さと大切な家族の追悼法要の意味を感じ取られたのではなかったのでしょうか。

アメリカでは五月になると多くの人が戦没者追悼のためお墓に足を運びます。メモリアルデーは尊い命を犠牲として国の希望と夢を守るために勇敢に戦った兵士たちを追悼する日です。また同時に、家族や友人が集まって故人を偲ぶ日でもあります。コロナウィルスの蔓延により昨年は多くの墓地が閉園を余儀なくされました。今年はお墓参りができることを祈っています。

多くの仏教各宗派と同じように、浄土真宗もご法事を大切にしてください。(三面へ)

一言居士

◇「最後に誰かと待ち合わせをしたのはいつのことだろう。」待ち合わせ場所の代名詞と聞かれて映画館、喫茶店、公園と思いついたが、どれもここ一年は行っていない。

というよりも行きたくても今まで閉まっていたか、一緒に行く相手が見つからなかったといった方が正確だろう。その理由はご想像の通り。◇昨年の春から続く新型コロナウイルス感染症はワクチンの接種が進んだお陰もあり、徐々に沈静化に向かいつつありますが、規制が緩和されたタイミングで屋外のレストランは人で賑わい始め、路上を走る車の数は明らかに増えた。一昨年と違うことはそこに必ずマスクと消毒液があることだろう。◇ロサンゼルス郡衛生局は三月十五日、感染症に関する業務規制レベルを一つ緩和し、層は紫から赤に変わった。これにより今まで禁止されていた屋内の活動が限定的に解禁されることになり、映画館や博物館などの営業も再開できるようになる。屋外の方は条件を満たせば友人と一緒に席で食事をとれるそうだ。◇とは言え全ては各自の体調と状況次第。やはり気を付けるに越したことはない。だが、長かった我慢の日々から待ちに待った久しぶりの外出は格別である。

【新型コロナウイルス感染症に関する対応について】(四月二日現在)

羅府別院では新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、各種対策を実施しております。納骨堂へご参拝の際は、オフィスまでご訪問の日時と人数をお知らせ頂くようお願い致しております。

日曜礼拝・特別法要・永代経祥月法要につきましては、オンラインにて生配信をしております。お手数ですが、ご参拝をご希望される方は、NishiDharmaCenter@gmail.comまでご連絡ください。現在、別院敷地内屋外でお葬儀を厳修しております。ご法事につきましては屋内でのお勤めを部分的に行っております。詳しくは紙面三面、輪番法話の末尾をご確認ください。

御質問、お尋ねなどございましたら、寺務所までお問合せ願います。

*米国内の社会情勢の変化で、予告なく別院の方針が変わる場合があります。最新の情報は、当院Websiteを確認頂くか、お電話にてお尋ね下さい。

合掌



【最近の別院の写真】西センターの子どもたちと花祭りをしました。子どもたちはいつでも元気一杯です(上写真)長年莊嚴のお花を担当されていた花屋さんが引退されて新しい担当者となりました。ご苦勞様でした。(下写真)

【五月・六月のご法縁のご案内】

◇ウィルスにより、内容を中止・変更する場合がございます。

母の日の集い(於 オンライン)

五月九日(日) 午前十時

永代経祥月法要(於 オンライン)

五月九日(日) 午後一時

宗祖降誕会 (於 オンライン)

御講師 今田法翔 師(トライステイトデンバー仏教会)

五月一六日(日) 午前十時 日英

メモリアルデーの集い(於 オンライン)

五月三〇日(日) 午前十時

永代経祥月法要(於 オンライン)

六月十三日(日) 午後一時

父の日の集い(於 オンライン)

六月二十日(日) 午前十時

BEC仏教法話会「安心論を学ぶ」(於 オンライン)

五月六日から六月三日迄 隔週木曜日 午前十時

BEC仏教法話会「The Basic Teaching of Jodo Shinshu」(於 オンライン)

五月四日から二五日迄 毎週火曜日 午後六時

BEC仏教法話会「Contemporary Issue and Jodo Shinshu Perspective」(於 オンライン)

毎週水曜日

BEC仏教法話会「教異抄に聞く」(於 オンライン)

五・六月は第三土曜日 午前十時

日曜礼拝(於 オンライン)

毎週日曜日 午前十時

別院オフィス休業(Memorial Day)

五月三十一日

本派本願寺羅府別院

【この話ご存知でしたか】増山栄子

「枕経は臨終後すぐに故人の枕元で読経することです。文字通り枕元であげられるお経です。」— Traditions of Jodoshinshu Hongwanji-ha

書籍『Rites of Passage: DEATH』より

故人への最初の儀式は枕経と呼ばれています。仏教の歴史には明示されている宗教的な臨終の儀式はありませんでした。習慣的な儀式形式はあったかもしれませんが。しかし、それは江戸時代（一六〇三年—一八六七年、徳川時代とも呼ばれています）に枕経と言う名称と共にその規律的な慣行が必須になりました。

徳川幕府（幕府政治）がキリスト教を公式禁制を始めたのはこの時期でした。日本の経済的および社会的生活のあらゆる側面を統制するために、孤立主義的な政策が確立され、外国からの感化を妨げました。キリスト教の布教をなくし、その影響を抑える為、幕府は独自の宗教活動を開始しました。埋葬の許可を得る前には必ず死後すぐに、地区の仏教寺院に連絡しなければなりません。遺体の確認をして記録が取られてから、読経（枕経）が始められました。従来仏教徒は死に際して臨終動行を行っていましたが、キリスト教を抑制したい徳川幕府によって、枕経という一様性と普遍性がもたらされました。キリスト教に対する禁制はもはやありませんが、枕経の一般的な慣習は今日まで続いています。

今日では、枕経は私たちが愛する人を失うことの痛みと辛さを和らげる慈愛を伝えるために行われています。これは仏陀が説いた精神への一種の回復と言えるでしょう。多くの場合、私たちが非常に身近な人の死を経験すると、家庭内は非常に緊迫し混乱します。私たちは一生涯を通じて、現代社会から論理と倫理の解釈において、実践的で科学的になることを教えられてきました。しかし、そのようなときには、論理、倫理、科学的対応や技術のすべての感覚は無意味になります。それらは人間の心情に対する疑問や感情のすべてを満足させることはできません。したがって、枕経

は葬儀のような最後の儀式あるいは告別ではなく、始まりです。緊迫と困惑が入り混じるなかで、枕経は悲しみに暮れる家族にとって落ち着きの焦点になります。誰もが仏陀の深い思いやりとお慈悲のある教えを聴聞できる私事の時です。これは心残りや不安な思いをしている家族や友人にとって、生き続ける方法を指し示す意味があります。

アメリカでは枕経は死の直後、あるいは翌日までに終わっています。この儀式は、病院、自宅、寺院、または葬儀社で行われる場合があります。枕経は読経、お焼香、僧侶からのメッセージという順で進行します。ですが、多くの病院ではお焼香は禁止されています。たいていは枕経の後、家族、友人、寺院代表者、僧侶と葬儀社の担当者によって葬儀の相談が行われます。

自宅で死去された場合は、枕経の時は家のお仏壇の装飾は普段通りでよいです。ただし、献花は新鮮なのが通例です。もし出来れば木の枝を使用し、もし無ければ花の代わりに常緑樹が適しています。死後すぐに枕経をする場合は、故人の顔を小さな白い布で覆う必要があります。ろうそくやお香を絶えず付けておく必要はありません。ろうそくやお香は枕経の間と、個々人がお仏壇の前で敬意を表した場合にのみ燃やしてください。

Rites of Passage: DEATH 一九八六年、著者アサータけもと、小谷まさお、ラッセル浜田

時間の経過とともに社会は変わる。しかし、私たちはこの変化に順応しなければならぬ。

一九六一年、正午ごろにはあちゃんが自宅のベッドで亡くなった。毛利正奇開教使が来られて、彼女のベッドサイドで家族と共に枕経が行われました。彼女の顔は白いハンカチで覆われていました。

一九八八年、深夜に父が病院で亡くなった時には毛利正奇開教使とラッセル浜田開教使が翌日家に来られて、家族のお仏壇の前でお勤めされました。

母が二〇〇一年に自宅のベッドで夜遅くに亡くなった時には、次の日あたりに葬儀社のチャペルでグレゴリーギブス開教使が枕経をお勤めされた。パンデミック真つ只中の二〇二一年、勤労感謝祭の祭日を控えた金曜日の夜に叔母が介護施設で亡くなった。枕経はプリオネス輪番が翌週の火曜日に葬儀社の外で勤めました。

(翻訳 伊藤千鶴子)

「法味楽」味わう×楽しむ 仏教



開教使 村上 響 別院 府 羅

「ことばの意味」

日本語版寺報の一面中段あたりに、一言居士というコラムが密かに連載されていることにお気づきでしょうか。このコラムではお寺で起きた出来事というのほとんど取り上げず、あえて日本やアメリカで起きた出来事などを中心に概観し、それにちよつと豆知識みたいなものも加えて、最後は執筆者の考えや思いを添えて締めくくっています。エッセーと言えそうですが、解説記事かと言われればそうでもないこのふわふわしてコラムは、去年の夏頃から連載を始めていますが執筆者の名前は載っていません。載っていないというより載せていないのです。なぜなら私が一言居士を書き始めましたが、参考にした読売新聞の編集手帳にも執筆者の名前は載っていません。

読売新聞はご存じの通り日本にある大手の新聞

社ですが、その朝刊には編集手帳という事件の記事でも解説でもないコラムが毎日掲載されています。一言居士の書き方はこの編集手帳のままなので、真似ている私が申し訳なく感じるくらいご本家は流麗かつ爽やかな出来の為、是非とも日本語に興味のある方にはお勧めしたい必読のコラムです。編集手帳のようなコラムは何も読売新聞の専売特許ではありません。毎日新聞の余録、朝日新聞の天声人語、日本経済新聞の春秋など、いずれも各社きつての文章力を持つ記者が執筆を担当していると聞きます。その出来がどれほどかと言え、小学校の国語の授業で使われるくらいレベルですから最良目なしにまさに日本語のお手本と呼べるコラムたちです。現在は引退されましたが元編集手帳執筆者の竹内政明氏によれば、本来は忙しい仕事勤めの人が朝の通勤電車に揺られながら読んでも「面白い」と思えるコラムを届けることが彼らの使命なのだそう。大人をターゲットにして、尚且つ、それをまた小学生の読解力でも読んで理解ができる言葉を選べるといふそのセンスは、同じく普段から言葉を湯水が如く使う私にとっては羨ましい限りです。こちらは分野が違つてある自動車の技術者からの意見ですが、特定の目的に合わせて能力を高めた競技車両を作るより、毎日どこでも誰が運転しても操れる量産車を作る方が遥かに難しいそうです。これを物書きの視点から捉え直すと、誰かに向けた私信ではなく、誰が読んでも面白いまさに編集手帳のようなコラムは、人を選ばず、日時を選ばずとも、毎日面白い訳ですので執筆者がどれほど非凡なことを成し遂げているのかがよくわかります。

話は戻って寺報の一言居士ですが、今お話した名人のコラムを目標に私も自分の原稿に向かう訳ですが、いつも書いた後に読み返してみると真似していることが恥ずかしいと思うくらいその出来がっかりしています。それでも、当の本人は書き終えた直後は「これが今まで一番いい」と太鼓判を押したつもりなのですが、どういふ(次面へ)

(一面続き)した。仏教といえれば法事というイメージをもつ人も多いかもしれませんが、歴史を見てみると必ずしも最初からそうであったわけではありません。お釈迦さまは亡くなられる時に弟子たちには葬儀を行わないようにと告げていました。自分のために葬儀を行うよりも、自らの修行を続けて欲しいと願われたのです。お釈迦さまの時代から西暦六百年頃まで、葬儀は火葬の間に読経を勤めるといってごく簡単な形式でした。

現在寺院でお勤めする葬儀や法事の形式は儒教から大きな影響を受けています。儒教の道徳である孝と先祖崇拝が核となつています。食べ物や飲み物、お花をお供えしたり、読経を勤めるのは生きていた家族から亡き人への孝行という善行であり、それは亡き人への功德として差し向けられると考えられてきました。

仏教が日本に伝えられた時、そうした中国の習慣が一緒に入ってきました。ですから、敬虔な仏教徒が法事を「亡くなった人のため」と考えたのはごく自然なことでした。親鸞聖人以前の日本では、法事は亡くなった人が死後に受ける功德でした。法事という儀式をはじめとしてお供えや読経は死者の魂を鎮め、お返しとして死者からの守護や幸運を招いてもらえるようお願いするものでした。「法事をきちんとお勤めしないとバチが当たる」という言葉は死者と生きていた者とのこうした関係を表しています。追善供養と呼ばれる法事がこれにあたります。

このような信仰を明確に拒絶したのが親鸞聖人でしたが、残念ながら、今でも多くの真宗門徒が追善供養として法事を理解しているのは事実です。ご法事や死後についてよく分からないと感じた時、周りにいる人の考えやイメージに影響を受けるのはよくあることです。

真宗門徒にとつてご家族の法事をお勤めするのは、亡き人の人生を振り返りその方から今も変わらず影響を受け続けていること、その方の存在そのものがどれほど大きく深い恩恵を私たちに与えてくださったか、そのことに改めて気付かせていただくためです。勤行や焼香、お花やお供えは亡き人の人生を通していただいた多くのご恩に対する感謝の表現なのです。いただいているご恩の深さに気づき、それに感謝の気持ちで報いる、それがご法事をお勤めする意義と言えるのではないのでしょうか。

今年もメモリアルデーを迎えます。またご法事をお勤めする方もいらっしゃるでしょう。いずれの場も私たちが生かされて生きていくという事実の大切さを実感するご縁となればと思います。私が今こうして私としてあるのは、私の思いをはるかに超えたご縁と、私の命を支えてくれている無量の命のおかげであります。そのことに目覚めた時、その目覚めを促してくださった阿弥陀仏の智慧と慈悲のはたらきを身に感じることができます。そして目覚めは感謝に満ちた生き方として表現されていくのです。真実への目覚めは私たちが未来へと前進させる歩みとなります。それは亡き人の思いや言葉、行いを自身の生活の中で常に感じ続ける歩みであると言えるのではないのでしょうか。



昨年公衆衛生局は宗教施設での収容人数を定数の二十五パーセント以下としてきましたが、先ごろそれを五十パーセントまで引き上げました。別院では依然として本堂での日曜礼拝や法事の再開には慎重になっております。しかしながら、最近のロサンゼルスにおける感染者数ならびに入院患者と死者数の減少、ワクチン接種の普及状況等を鑑み、別院のコロナウイルス感染対策委員会では、ウエステリア・チャペルと納骨堂における法事を再開することといたしました。ウエステリア・チャペルでは参加者を最多十名、納骨堂での収骨式には最多六名という制限を設けています。また駐車場での葬儀に関しては参加人数を二十名から五十名に拡大いたしました。なお、体温チェック、フェイスマスクの着用、ソーシャルディスタンス、連絡先の提出などは引き続き必須となっております。

納骨堂への参拝時間は以下の通りです。

月曜日・金曜日：午前九時～午後五時
土曜日：午前十時～午後三時

参拝は予約制となっておりますので、別院寺務所にご連絡ください。

(二面続き) 訳か後で見直して恥ずかしい思いをいつも一人ですべてしています。号数を重ねていく毎に少しは読むに耐える文章に変わっている感があるのですが、こちらは私ひとりだけの感想ではないことを祈ります。

じゃあ、一言居士の執筆を止めるのかと言われればそうでもないです。テーマは自由ですし、約486文字で織りなす言葉遊びは意外に面白いものです。ですが、私の遊びの為だけに一言居士を投稿している訳ではありません。日本語面の寺報は投稿に兼務して編集も今は私が受け持っております。編集に携わることになったのが去年の夏ごろ。ちょうど、コロナ感染症の影響でお寺がまだ完全に閉まっていた頃で、人同士の会話がほとんどなく移動の制限が厳しかった時です。当然お寺でイベントもありませんでしたから、寺報にはどうしても余白が目立ってしまう。代わりに何か別の情報を載せようにも当時の私にアイデアなどありませんでした。どうしたものかと思つた時、

ちょうど竹内氏が書いた本に目を通して、そこで編集手帳が読む人の心に訴える文章を目指して毎回届けてられているということを知つた私は、心が疎遠になりがちな今こそ寺報に編集手帳のようなコンセプトのコラムを載せようとしたのがきっかけで生まれたのが一言居士です。

竹内氏はこうも述べています。編集手帳の最後の一文は必ず「裸の自分で締めくくる」ことにしていたそうです。要するに文飾なしで思ったままのことを自分の言葉で書くということです。例えば、どんな場面でも決まり文句みたいなものがありますが、多くの人が決まって使う紋切り型みたいな言葉は時々本人に先走って言葉が一人遊びしてしまう時があります。編集手帳の締めはそういった表現に頼らず、思ったままの文章を最後に添えて読者への共感を呼び掛けて終わるのが特徴です。それによって、竹内氏の人柄まで伝わってきます。広辞苑の売り文句よろしく「ことば」には意味がありますが、意味のある言葉は使い込ま

れていくうちに辞書には載っていない人情みいたなものも帯びてくるはずですよ。

六字のお名号はまさにそういった言葉ではないのでしょうか。たつた六字の「南無阿弥陀仏」には何百年、何百世代の人々の願いや思いが積み重なって今へと続いています。過去の人々の思いはお名号のほたらきや意味とは別に、確かにお名号の上に宿っています。

たかが漢字六文字の「ナモアミダブツ」でしょうか。いえ、永い時間を称え続けられた「ナモアミダブツ」には意味があります。

合掌



四月三日、サーモンボールファウンドレイジングが催されました。コロナ感染症の影響で多くの制約がある中、ボランティアスタッフがイベントの企画、準備、運営をこなされました。準備を手伝って下さった方々の笑顔がとっても印象的でした。ご声援・ご協力ありがとうございました。

